2026年度 国立国語研究所 日本語教師セミナー（海外）

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所
National Institute for Japanese Language and Linguistics

JAPANFOUNDATION
JAPANISCHES KULTURINSTITUT
ケルン日本文化会館

講座タイトル：「複言語・複文化環境下で、継承語としての日本語／母語を学んできた子どもたちの言語生活について考える －リテラシーに関する試行調査や縦断調査の結果を踏まえながら」

講座概要

日本の国際化に伴って海外で生活する日本人の子どもたちが増える中、複言語・複文化環境において、現地語のみならず保護者の母語である日本語を継承語として学ぶ機会を確保することが、状況に応じて重要になってきます。本セミナーでは、欧州で継承語として日本語を学んできた高校生約20名を対象としたリテラシー調査の結果を報告します。また、日本国内で継承語としてのポルトガル語他や、第二言語としての日本語を学んできた高校生・大学生の縦断調査の結果についても報告、比較考察します。最終的には、現地で継承語としての日本語の教育／学習支援に携わる先生方や関係者とともに、今後の複言語・複文化環境下での子どもの学びの在り方や醍醐味について考えます。

◆プログラム（予定）

11:00–11:05　開始・趣旨説明（野山　広）
11:05–12:05　講演（野山　広）
12:05–13:00　休憩（55分）
13:00–14:20　事例報告（3～4人の保護者の方々）
14:20–14:30　休憩（10分）
14:30–15:00　コメント等（ディスカッサント：福島青史氏）
15:00–15:50　意見交換・質疑応答
15:50–16:00　まとめ

講　師



野山　広　　国立国語研究所　准教授　（研究系）

長崎県五島列島産：前職の文化庁日本語教育調査官の時代から、地域の日本語学習支援、年少者の言語教育、識字・日本語学習等に関連した実践・施策等の充実に向けた様々な事業、会議、研修、調査等に携わってきた。日本語教育学会、社会言語科学会の理事を歴任するとともに、現在は基礎教育保障学会理事・副会長、異文化間教育学会理事、移民政策学会常任理事等を務める。関連した編著書等：『「移動する子どもたち」のことばの教育を創造する－ESL教育とJSL教育の共振－』（2009）ココ出版、『日本語が話せないお友だちを迎えて～国際化する教育現場からのQ&A～』（2010）くろしお出版、『地域における日本語学習支援の展開と共生社会～「のしろ日本語学習会」との連携・協働、縦断調査を踏まえて』（2026）ココ出版、『日本の識字率はほんとうに高いのか？「当たり前」を問い直すために』（2026）文学通信。＊構築に関わったWebサイト「こどもの日本語ライブラリ」（http://www.kodomo-kotoba.info/）

開催日時

2026年11月28日（土）　11:00-16:00　（現地時間）
［日本時間：同日19:00-24:00］

会　場

ハイブリット開催

- ケルン日本文化会館
  (Japanisches Kulturinstitut Köln,
  Universitätsstraße 98, 50674 Köln)　交通案内
- Web会議サービス「Zoom」

定　員

対面：25名、オンライン：150名（予定）

受講料

無料

参加申込

こちらからお申込みください。
締切：2026年11月20日（金）
https://forms.cloud.microsoft/r/87J4ZhsWY9

お問い合わせ

◆国立国語研究所　研究推進課
Mail: ninjal-events[at]ninjal.ac.jp

◆ケルン日本文化会館　日本語チーム
Mail: kurse[at]jpf.go.jp

※ [at] を@に置き換えてください。

国立国語研究所日本語教師セミナーとは・・・

2016年度から国立国語研究所が実施する，日本語教育水準向上のための日本語教師を対象とするセミナーで，国内と海外で毎年各1回程度実施します。